

会議録	
会議の名称	平成22年度第1回清須市地域公共交通会議
開催日時	平成23年1月26日(水)午後2時00分から
開催場所	新川ふれあいセンター 2階 大会議室
議題	1 開会 2 議事 [報告事項] (1)清須市コミュニティバスの運行・利用状況について(平成22年度における連携計画事業の進捗状況について) [協議事項] (1)平成21年度決算報告について (2)ルート・ダイヤ改正について(清須市地域公共交通総合連携計画事業) (3)事業計画に対する実施状況の確認、評価について 3 閉会
会議資料	配席図 委員名簿 会議次第 資料1 清須市コミュニティバスの運行・利用状況について(平成22年度における連携計画事業の進捗状況について) 資料2 平成21年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算 資料3 事業計画に対する事後評価について 資料4 ルート・ダイヤ改正の方向性について 参考資料1 きよす あしがるバスの利用状況 参考資料2 時刻表案
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0名
出席委員	小澤委員、前田委員、山田委員、谷野委員、佐野委員、伊藤委員、加藤(榮)委員、宮崎(澄)委員、加藤(博)委員(代理)、小林委員(代理)、松井委員(代理)、吉川委員、永山委員、長崎委員、喜多村委員(代理)、彌田委員、永田委員、柴田委員
欠席委員	平松委員、高橋委員、渡辺委員
出席者(市)	なし
事務局	(企画政策課) 飯田課長、浅田主幹、山口副主幹、藏城係長、岡田主査、江川主事
会議録署名委員	小澤委員、山田委員

1 開会

● 飯田課長

それでは、定刻となりましたので、ただいまから、平成22年度第1回目となります清須市地域公共交通会議を開会させていただきます。

それでは、会議に入ります前に、ご報告をさせていただきます。

各機関の人事の異動により、委員の皆様方のご変更がございます。ご変更の方のみ、ご紹介をさせていただきます。本日、机の上に議員名簿をご用意しておりますので、ご覧いただけますでしょうか。

委員区分第4号でございます。愛知県の関係行政機関の職員の方でございますが、愛知県地域振興部交通対策課長の交代、異動に伴いまして、松井圭介様をお願いをすることになります。次に、愛知県尾張建設事務所維持管理課長のご異動に伴いまして、渡辺博喜様をお願いをすることになります。また、愛知県警西枇杷島警察署、交通課長様のご異動に伴いまして、吉川晴久様にこの委員へのご就任をお願いすることになります。なお、本日、松井様と渡辺様におかれては、ご公務のため欠席でございます。吉川交通課長様には、ご多忙の中、ご臨席をいただきまして、誠にありがとうございます。以上が、人事異動などにより、新たに委員としてご就任いただく皆様方でございます。これからお世話になりますが、どうぞよろしくお願いをいたします。

続きまして、本日の会議の出席状況についてご報告をさせていただきます。本日の欠席委員は、住民代表の平松委員、そして、先ほど申し上げた、高橋様、渡辺様の3名でございます。

また、代理でご出席してみえる方をご紹介させていただきます。委員区分第2号の副会長を務めていただいている名古屋大学の加藤准教授、本日、他のご公務により、同じ研究室の福本研究員様にご出席をいただいております。続いて、委員区分第3号の国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席輸送企画専門官小林様におかれては、古橋様にご出席をいただいております。また、愛知県地域振興部交通対策課長松井様におかれましては、井上様にご出席をいただいております。以上が、本日の出欠状況のご報告でございます。

それでは、これより議事に入ります。

それでは、この後の議事進行は、前田会長をお願いしたいと思います。会長、よろしくお願いたします。

● 前田会長

はい。これからは、私の方で会議の取り回しをさせていただきます。よろしくお願いをいたします。

本日は、委員の皆様方には、大変寒い中、また、年度末に向かって大変お忙しい中、この会議にご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。早速ですが、会議を進行させていただきます。

始めに、会議録署名委員の指名をしたいと思います。本日の会議の会議録署名委員は、小澤委員と山田委員をお願いしたいと思います。

議事に入りますが、本日は、報告事項が1件、協議事項が3件となっております。

では、議事(1)「清須市コミュニティバスの運行・利用状況について」

を議題とします。

それでは、事務局から説明をお願い致します。

● 飯田課長

議事1「清須市コミュニティバスの運行・利用状況について」説明。

● 前田会長

はい。ありがとうございます。

ただ今、あしがるバスの運行・利用状況等について、事務局からご報告がありました。何か委員さんから、ご意見やご質問等がありましたらよろしくをお願いします。

よろしいですか。はい、小澤委員どうぞ

● 小澤委員

小澤と申します。あしがるサイクルの件で聞きたいのですが、この自転車は、元々、どういった自転車を使われているのでしょうか。

例えば、自転車を借りられて怪我をされた場合とか、そういった時は何か対策を考えてみえるかということをお聞きしたいんですけど。

● 飯田課長

はい。まず、どういった自転車かということでございますが、中古自転車を利用しております。リサイクル自転車というものでございます。実証実験として実施をするものですから、あまり、最初から高額な自転車を買ってもということで、リサイクル自転車を活用しています。これは、自転車屋さんできちんと整備をされて、今、2件目のお話にもあった保険も掛けられ、安全性が認められている自転車を利用させていただいております。

もし、事故等をされた場合には、TS保険という保険に全部加入をしております。一定額の傷害保険は、受けていただけるような仕組みになっております。以上でございます。

● 佐野委員

佐野でございます。

あしがるサイクルの件でお伺いしたいと思えます。昨年10月でしたか。中日新聞に、このあしがるサイクルのことが載りまして、この会議でもレンタサイクルの話が出ておりました。実験期間の時期が10月から3月ということで、この44日間はそんなに寒い時期でもなかったと思います。しかし、清須を知っていただくには、桜であったり、菜の花であったり、チューリップ畑だとか、やっぱり春の時期が、初めて来ていただく方に清須って良い所だなと理解をしていただけるのではないかと思います。時期をもう少し考えられると良かったのかなと思いました。

また、こうやって来ていただいて、それに併せて、美術館の展示の紹介をするとか、お城に来ていただいた方には美術館の割引を出すとか、地域マップが作られているとか、そんなことを整備されているかなと、少し思いました。

それと、私たちも、いろいろな観光地に行くわけです。観光のスポット、食べる場所とか、ゆっくりできる場所とか、そういうことをもう少し整備ができると、より多くの方に来ていただけるのかなというふうに思いました。それともう一つ、レンタサイクルをするには、道路の整備が必要かなと思います。春日まで行く道路、例えば〇〇町的美濃路へ行っていただく道路など、本当に、皆さん安全にレンタサイクルが使っていただけるかどうか、というようなことも検証していただくと良いのではないかなと思いました。

● 前田会長

今の、委員さんのご発言ですが、事務局へのご要望ということで宜しいでしょうか。はい、ありがとうございます。他にございませんか。どうぞ。

● 永山委員

名古屋タクシー協会の永山と言います。

もし分かれば、事務局から教えていただきたいと思います。資料の市民満足度調査、ニーズ調査でございます。2ページですけども、(2)の主な回答理由で、市民の皆様のご要望として、「あしがるバスの充実、改善」の中に、コース通りではなく、臨機応変に活用できるシステムが必要ということ。これは、おそらく制動的にも技術的にも、なかなか難しい話だと思います。具体的に、どのような市民の方がイメージでおっしゃっているのか、分かれば教えていただきたいのが1点です。次に、あしがるバスの必要性等に関する疑問として、事務局から、この方々は、あまり日常生活でご利用していただいていない方ではないか、という感じのお話もありました。その一番上段にですね、利用客がいらないので不要と感ずるという記載がありますね。これは、具体的に、おそらく非常に利用者が多い便と、時間帯によっては、お客さんの数が少ないとか、そういう感じのイメージになるのですかね。その2点でございます。もし分かれば、教えていただきたいと思います。

● 飯田課長

まず、1点目のコース通りではなくて、臨機応変な対応というのは、この満足度調査だけではなく、我々のところへもお電話とか直接の声として寄せられております。というのは、タクシー的な感覚で、「家の前を通るのだから、バス停じゃなくて家の前で降ろしてよ」とか、「土日とか何かイベントがあったら、バスの本数、もう1本とか2本増やしたらどうか」というお声があるんですね。

その度に、私どもは、道路運送法に基づく定時路線ということで、決まったダイヤで、決まったルートで、決まったバス停でご利用いただいております。分かりやすく説明する場合には、名古屋市の市バスさんと同じような形態ですので、そういった「途中で降ろしてよ」とか、「この日だけバスの本数を増やしてよ」とか、「そういった対応はできませんよ」というお話はさせていただいています。なかなか、そこのところの周知が至っていないのかなと思います。

また、もう一つ考えられるのは、皆様ご案内のデマンド交通というもの

です。

予約制のタクシーのような形態で、過疎地で行われているシステムですが、そういったものも、頭の中におありなのかなと思います。

もう1点目の利用客がいないので不要といった意見も、多々いただいております。バスのドアというか、窓ガラスが、少し紫外線を遮るようになっておりますので、外からお客さんが乗っているのかどうか、ちょっと見えづらいですね。ですので、どうもお客さんの乗っている風景が、外から見るとよく分からない。誰も乗っていないんじゃないか、というようなご意見を聞く場合もあります。そういったところから出ているご意見かなというふうに思っています。以上でございます。

● 前田会長

はい、よろしいですか。ありがとうございます。

● 古橋委員

愛知運輸支局の古橋です。

今の事務局の説明の補足なんですけど、バス停以外の乗降ができないという話がありました。

制度的には、フリー乗降制度とあって、できないことではなくて、道路管理者とか、警察さんがOKと言ってくれば可能は可能です。ただ、清須市でそれができるかという、ちょっと別だと思っんです。できないと言ってるわけではない、ということのご認識をいただきたいということです。それから、イベントの時に運行本数を増やすということなんですけど、これもできないのではなくて、届出を15日前までに出してもらえれば、運行はできます。そこは、出来ないわけではないということです。そこは、もちろん、運行本数を増やすということになると、経費とか契約とかいろいろあると思いますから、様々なものをクリアするということはあると思います。道路運送法上は、可能は可能ということでご認識いただければというふうに思います。以上です。

● 飯田課長

事務局からですが、少し言葉足らずな面がありまして失礼しました。フリー乗降の話は、これまでも出ていたのですが、清須市の道路事情では、郡上八幡市さんとかでフリー乗降をやってみえるような自治体ありますが、難しいかなというところがございます。以上でございます。

● 前田会長

いろいろとご意見もあると思いますが、ここで、事業概要を掌握されて、また、多方面でもご指導をいただいております福本様より、ご講評がいただければと思います。

● 福本委員

名古屋大学の福本です。

本来でしたら加藤が出席するところでしたが、今日、別業務がありましたので、私が失礼させていただきます。

全体的に、利用者が前年対比で増えている傾向にあるということです。これは、一昨年が悪かったというのもあり、今年もそんなによくはないと思うんです。というのは、今年は、特に冬が寒いということとか、インフルエンザとかノロウイルスも流行っているというような報道がされています。状況としては、景気もよくなってないので変わらないと思うんです。増えているということは、定着してきたとか、或いは、事務局からの説明にもありましたように、固定客の方が出てきているのかなという印象を持っております。

それから、2 ページ目のニーズ調査の結果のところですが、前回と今回の満足度と重要度を見ますと、重要度が「非常に重要である」、「やや重要である」を足しますと、比率的に結構増えているということです。「重要である」と思われてる方が増えているということです。一番目の満足度ですが、「満足している」、「やや満足している」を足すと、前回よりは下がっているんですが、注目すべきは、「やや不満である」と「不満である」を足したのも上がっているということです。「どちらともいえない」という回答が減っているということです。これは、「不満である」という意見にしても、「満足である」という意見にしても、「どちらともいえない」という意見が減っているということは、興味を持ってない人が減ったと認識すれば良いんじゃないかと思えます。それが、重要度の部分で、「重要である」、「やや重要である」が増えているということに繋がっていると思います。要するに、前回のアンケートでは、あしがるバスのことについて何も考えてなかったり、知らなかったりして、どっちでも良いよと思っていたところが、今回は、「そういうバス走ってるね」と思ったとか、「必要だよね」と思っているとか、「走ってるけどいらないよね」と思っているとかというふうに、住民の方のバスに対する認識が深まったというか、広く知れ渡ったということが、「どちらともいえない」という回答が減っているというところに現れているのではなかろうか、と思えます。これは、推測ではありますが。

それから、あしがるサイクルです。

特に、外から見えた方は、駅を降りてあしがるバスがあるとはいえ、なかなかコミュニティバスというのは観光で使うには不便な面もあります。清須市さんみたいに、平場で面積もそんなに大きくないバスだと、1 便乗ってどこか観光地に行ったら次 2 時間後というのと、2 時間は長いかなと思います。自転車であれば、ちょっと見て、また乗ってどこかへ行って、また見てということが出来ます。これは、とりあえず実験ということなんですが、将来的には隣の名古屋市で名チャリというものを実施してますけど、観光という面や、ビジネスで来られた方のことを考えると、今後、継続するとかという検討に値するのかなと思っております。以上です。

● 前田会長

ありがとうございました。

議事の報告事項（1）全般につきまして、ご意見やご質問がありましたら賜りますがよろしいでしょうか。

ご質問もないようですので、これで議事報告事項（1）を終わりたいと思えます。

続きまして、協議事項の議事（１）平成２１年度決算報告についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

● 飯田課長

協議事項 議事（１）平成２１年度決算報告について説明。

● 前田会長

はい。ただ今、事務局から協議事項（１）についてのご説明がございました。委員さんから何か、ご意見、ご質問等ありましたら、宜しく願います。

委員さんからも、特にご質問もないようでございます。ここで、お諮りをいたします。本件に関しまして、ご承認いただくということで宜しいでしょうか。

「異議なしの声あり」

ありがとうございます。

これをもちまして、協議事項の議事（１）を終わります。

続きまして、協議事項（２）と（３）を入れ替えまして、協議事項の議事（３）を（２）とし、「ルート・ダイヤ改正について」を議題としたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

● 飯田課長

協議事項 議事（３）ルート・ダイヤ改正について説明。

● 前田会長

ありがとうございます。

ただ今、事務局からルート・ダイヤ改正等、その方向性等についての説明がありましたが、これに関しまして、委員さんのご意見、ご質問等を受けたいと思います。

● 吉川委員

質問及び意見です。

バスですので、我々警察としては、運行の安全性だという形を一番気にしております。安全は、利用者にとっても最大のサービスだという考え方を持っている運行の事業者も多いようです。安全性は、何を言いたいかというと、利便性でコースどうのこうのというのも大事なんですが、運転手の関係の運転資料、安全に運行を続けられるのか、若しくは、ルートによって、特に注意を要するのは、連続して行かないか、というのがあります。その辺の状況等ございましたら、教えていただきたいと思っております。単純に、時間とかというのではなく、「時間帯によって」という部分もございます。その辺の検討はなされているのかというのを疑問に思いました。ご回答できるなら、教えていただきたいと思えます。

● 飯田課長

まず、連続運行時間とか休憩時間につきましては、現路線、ダイヤの体系とほぼ同等の休憩時間や連続運行の時間とさせていただいております。

また、交通規制の問題や、福利の問題については、事務局で十分チェックをしているところでございます。この方向性の確認をされた段階で、詳細なご協議をさせていただきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

● 前田会長

はい。宜しいでしょうか。他に、委員さんからご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

● 古橋委員

確認と、もう1点アドバイスというかたちです。

確認は、湯吉郎のバス停の件ですが、他のバス停も含めて、市外に出るようなことがあるかどうかというのが1点です。それからもう1点、感じたことですが、マックスバリューの近くにバス停を設置するという話です。イオングループだと思いますが、イオングループさんて意外と、公共交通に便宜を図ってくれて、敷地内への乗り入れについて、ある程度目の前まで入れてくれるような話が、どこのイオンとかマックスバリューもOKしてもらっているような話があります。そこをしっかりとやっていただいて、できれば、警察さんの話があったように、連続運転の話もクリアできるのであれば、敷地内に入れて欲しいなと思えます。

もう1点、マックスバリューとできればタイアップができればと思えます。極論、あしがるバスに乗って来た人については、「バス代無料です」とか、そのくらいの政策ができると、もっともっと良いものになっていくのかなと思えます。もちろん、広告収入等が今でも上がっていますが、できればお願いして、協力していただくということも必要なのかなと思えます。以上2点です。

● 飯田課長

まず、湯吉郎さんのバス停を新設するに当たって、市外にバスが運行することになるかどうかということでございます。

今、地図でご覧いただくと、赤い線が、清須市とあま市との境界線でございます。これを跨ぐかどうかというご質問でございます。跨がないルートでございます。庄内川の堤防を南下しまして、湯吉郎さんの敷地でUターンして、また戻っていく形になります。ここの境界線を跨がない、市外に出ないルートで今は考えております。と申しますのが、どうしても新川堤防は、幅員も狭く、すれ違いというところとちょっと難しく難儀なところもございまして。庄内川の堤防から、接近していくルートで考えております。

続いて、マックスバリューさんの件でございます。

ご指摘のように、郵便局の前にバス停があって、ここは県道一宮清須線で、大変交通量の多いところにバス停を設置させていただいております。マックスバリューさんのご了解が得られれば、このバス停を是非敷地内に入れていきたいと考えております。

ただし、マックスバリューさんは、大規模店舗法の手続き中の真最中で

ございます。その手続きと並行して、我々も協議を進めていくという状況でございます。バス停が置けますと、少しでも安全性の確保というところに繋がっていくということに、十分意識してまいりたいと思っております。

また、お店とのタイアップというの、マックスバリューさんに併せて、お願いを進めていきたいと考えております。以上でございます。

● 井上委員

私は、財政面からの質問をさせていただきたいです。

先ほどの資料2のご説明で、大変厳しいと言いますか、利用者からは、1人100円といったことで、市の負担が相当なものになっていくというご説明がありました。

これを見させていただくと、とても永続的に維持できるバスなのかどうかというのは、非常に難しいところがあるなということでございます。今ほど、愛知運輸支局の方が、「マックスバリューさんとのタイアップ」と言われたのも、財政面で何とかできないかといったご趣旨も含まれておったご意見だと思うんです。今回のダイヤ変更で、便数が減ったりといったこともあるわけです。例えば、この変更によって、財政面でどれだけ好転するのか、悪化するのか、そのような試算と言いますか、事務局で、もしありましたら、教えていただければと思います。

● 飯田課長

はい。今回、便数が減るルートもございます。便別の利用者数もチェックをしているのですが、減る最終便というのは、大変ご利用者数の少ない便でございます。

そこで、事務局としましては、今回のルート・ダイヤ改正で、これまで、市民の皆さんからご要望の強かった場所へ乗り入れが多くされるということで、利用者数の増加に繋がるものと期待しているというか、そのような方向で頑張りたいと考えております。

しかし、支出面については、これまでとほぼ同様の内容で、経費は維持できる資産でございます。先ほど、ご説明申し上げたように、基本的に、このルート・ダイヤ改正で、大きく変化するものではないと考えております。以上でございます。

● 古橋委員

1点は、今、井上さんから話が出てしまいましたので、それは省略させていただきますが、私、聞き落としたかも分かりませんので再確認です。

2ページ目の左の図面の中で、ルート変更になるところが3箇所あって、⑫は、住民要望に應える形ということなんですが、⑤と⑨のルート変更が、今まで利用してきた人と流れが変わってくるということで、その辺は、理解が得られるかどうかというのがまず一つです。

それから、先ほど同じく井上さんがおっしゃった、便数が減ることです。それは、利用の薄いところだという説明があったわけです。一方で、グリーンルートでいうと、現在55分乗るルートが70分に伸びるわけです。利用される方が、長いルート利用することに対するアレルギーと言いますか、結構あると認識しておるわけです。1時間を越えると長大ル

ートということで、余計にそういうことが顕著に出てくるような気がする
ので、その辺はどのようにお考えになっていらっしゃるのか、教えていた
だきたいと思います。

● 飯田課長

はい。⑤の西市場地区をグリーンルートに変更することについての考え
方でございます。

これまでの傾向を見ておきますと、新清洲駅南の辺りの地区の方が、こ
の西市場地区へ利用をされたいというご要望もあります。そういった人の
流れというふうに思っております。ですので、真ん中に五条川があるの
ですが、五条川の左で、新清洲方面から西市場地区へ、同じバスで行けると
いう仕組みが、人の流れに合っているものと事務局では、これまでのOD
調査等も含めて検討した結果でございます。

もう一つ、⑨のサクラルートに変更というところでございます。船橋橋
東、長者橋東は、利用者の大変多いバス停の一つでもございます。OD調
査といって、どこからどこまで利用されるかという調査等も見ますと、こ
の方々は、ヨシヅヤへ行かれるために、バスを利用されておられるという
結果が出てございます。サクラルートに変更しても、同じ時間でヨシヅヤ
までは行けることになりますので、大きく利便性が落ちるとか、そういう
ふうには考えておりません。利用者の方のご理解は、得られるものと考え
ております。

続いて、2点目のご説明をさせていただきます。

70分という時間が掛かるということでございます。

グリーンルートの傾向としては、県営新川住宅周辺の方がヨシヅヤへ行
かれるとか、また、西枇杷島のヤマナカ・ロイヤルへ行かれるとか、端か
ら端まで乗られるという利用者の方は、OD調査を見る限り出ておりませ
ん。そうしますと、70分間ずっとバスに乗られる方は、ほとんどいない
と考えております。ですので、所要時間が長くなって、ご不便をお掛けす
るといったことには、なっていないのではないかなというふうに考えてお
ります。もし、ご利用者の方のご意見もございましたら、お聞きをしたい
と考えております。以上でございます。

● 前田会長

ありがとうございます。委員さん、宜しいでしょうか。

他に、委員さんからご質問等もないようでございます。

ただ今、各委員さんから貴重な多くのご意見、そして、ご質問もいた
だきまして大変ありがとうございます。

ここで、お諮りしたいと思います。本件に関しまして、ルート・ダイヤ
改正等の方向性等につきまして、ご承認をいただくということによろしい
でしょうか。

「異議なしの声あり」

ありがとうございました。

続きまして、協議事項の議事(3)事業計画に対する実施状況の確認、
評価についてを議題とします。それでは、事務局から、説明をお願いいた
します。

● 飯田課長

協議事項 議事（3）事業計画に対する実施状況の確認、評価について説明。

● 前田会長

ただ今、事務局から概要の説明がございました。

これに関しまして、委員さんから、ご意見、ご質問等ありましたら、宜しくお願いいたします。

● 古橋委員

グリーンルート、グリーンラインというのが2種類あって、ラインなのかルートなのか、いまいち分かりません。多分、ルートが正解だと思うので、ルートに統一していただく必要があるのかなと思います。

2ページ目の上から3段目ぐらいですけど、オレンジライン、グリーンラインと言っていて、参考資料のアンケートの中でも、ルートと言っております。ルートの方が良いのかなと思うので、それに統一していただければと思います。以上です。

● 飯田課長

どうもありがとうございます。そのように修正をさせていただきます。

● 前田会長

他に、ご質問もないようです。

ここでお諮りしたいと思います。本件に関しましては、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

「異議なしの声あり」

ありがとうございます。異議なしという声をいただきました。これもちまして、協議事項の議事3を終わらせていただきます。

それでは、確認のために本日の議事を整理して、事務局から説明をいただきたいと思います。宜しくお願いいたします。

● 飯田課長

それでは、今日の協議結果についてまとめをさせていただきます。

協議事項の1番目の決算、事業費の内訳について、決算は、改めて全体会議でご承認をいただいた形でございます。

ルート・ダイヤ改正については、本日、方向性についてや具体的な変更箇所についてご承認をいただきました。今後は、具体的なバス停を施設内のどこに置くかといった細かな内容で、道路管理者や警察署さん、関係各所と十分ご相談をし、案をまとめます。その上で、皆様方にお集まりをいただくか、書面とするのか、どちらかの方法でご確認をしていただくような作業をします。

それで、3月の改正に繋げてまいりたいと考えております。

また、お認めをいただいた事業計画の評価は、今、アドバイスをいただいた点や、更に、名古屋大学さん等のご指摘を十分踏まえたかたちで、国土交通省さんに、今月末にご提出をさせていただきたいと考えております。以上がまとめでございます。

● 前田会長

ありがとうございました。

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

最後に、委員さんから、特に何かお願いやご意見がございましたら賜りますが、宜しいですか。

● 飯田課長

その他というところで、国土交通省さんから、追加資料のご説明をお願いしたいと存じます。

● 古橋委員

追加資料「地域公共交通確保維持改善事業」の説明。

平成23年度の国土交通省の予算が、ほぼ決まってきました。中身については決まっておりますが、公共交通に関わる予算がガラッと変わってきますので、ご案内だけさせていただきたいなと思います。

これまでの地域公共交通に係る国の支援策、「地域公共交通活性化・再生総合事業等」を1つにまとめて3つの枠組みという要求をさせていただきました。

元気な日本復活特別枠というもので要求したものですから、制作コンテストとか、公開ヒアリングを経て判定を得るわけです。その中でパブリックコメントを平成22年9月から10月下旬まで実施しました。意見を5,526件いただきまして、全事業、元気な日本復活特別枠の事業の中で、9番目に意見数が多かったということです。肯定的な意見について、95%、こういうものが必要ですよということが、95%あったということです。それを受けて、首相が主催する評価会議ということで、公開ヒアリングをして、12月1日に、B判定というかたちの評定が出たということになっています。結果的には305億円という予算案となったということです。

参考までに、平成22年度予算額の「地域公共交通活性化・再生総合事業 40億円」と書いてあります。これが、こちらの支援策に当たっている部分です。平成23年度については、2つに分かれていくんですけど、清須市さんの公共交通会議については、経過措置に当たるようになっています。39億円と書いてあり、去年40億円と書いてあります。平成23年度に2年目、3年目を迎えるところが対象ということになります。この部分については、経過措置ですので、今までとあまり変わりません。

今までは、公益バスは、県と国で補助金、赤字部分の補助金をほぼ全額出してあります。これは、1億円の赤字です。「1億円ください」というシステム、国と県で5千万ずつということになるんです。それが、そうではなくて、清算してからではなく、事前にお渡しして余った分については、

ご自由にお使いくださいというシステムに変えていこうという形になります。その他は検討中なので、詳しい話はできないわけなんですけど検討しているところです。

あと、地域公共交通確保維持事業中部ブロックの説明会について、2月9日に説明会がウィル愛知であります。ここで本省の担当者が詳しい説明をして、意見・要望を吸い上げていくというふうに言っております。もしお時間があれば、是非参画していただいて、「こういうものが要望としてあるよ」と、お伝えしてもらえれば非常にありがたいと思っています。

予算の関係は、私からは以上です。

もう1つ、地域公共交通シンポジウムについてです。

実は、昨年9月に、地域公共交通シンポジウムを中部バス協会さんと中部運輸局で共催で開催しております。

今度は、岐阜で2月22日の水曜日に、岐阜駅の前のじゅうろくプラザというところで、シンポジウムを開催することになっております。パネルディスカッション、それから基調講演、報告があります。パネルディスカッションは、全国的にもかなり有名な加藤先生や竹内先生、中村先生が見えますので、是非、ご参画いただければと思います。

参考までに、「シンポジウム バスを活かしたまちづくりを考える」ですけど、接続バスといって中部運輸局では初めて導入されます。このバスを導入する経緯というのは、公共交通活性化総合事業で、この車を導入しているという流れになっています。ちなみに、この車は、すごく高くて接続で1両8千万円するものを2両入れます。これが、岐阜のランドマークになっていくんじゃないかなと思います。これが展示されますので、是非、宜しければ、こんなもんなんだというのを見ていただければかなと思います。私からのご案内3点でした。宜しくお願いします。

● 福本委員

説明会は、どちらかというとお役所の方向けかと思うんですが、住民の方でも興味のある方は、行っていただければ良いのではないかなと思います。細かい制度設計に関して、うちの加藤もお手伝いをさせていただいており、私もその下でできることをお手伝いさせてもらっております。清須市さんは、国系保有路線が無いので、あまり関係はないとは言うものの、全体的な補助が大まかに変わるので、そういう意味では、アンテナを上げておいていただきたいかなと思います。

それから、シンポジウムは、もっと一般向けのものだと思いますので、住民の皆さん1人でも興味のある方は行っていただければと思います。竹内先生も中村先生も、非常にバスの業界では有名な先生で、パネルディスカッションとか基調講演も面白いです。中村先生は、南米のクリチバという町があるのですが、鉄道を造るお金が無いので、バスを中心とした都市計画をやっており、すごい有名なところなんです。そこの話をすると。多分、クリチバのことに関しては、中村先生は、日本では右に出る方がいないぐらいご存知な方だと思います。そういう意味では、貴重なお話が聞けるんじゃないかなと思います。以上です。

● 前田会長

ありがとうございました。

最後に、事務局から報告事項がありましたら、お願いいたします。

● 飯田課長

特にございません。

● 前田会長

これをもちまして、平成22年度 第1回 清須市地域公共交通会議を閉会いたします。本日は、本当にありがとうございました。

また、宜しく申し上げます。

閉会 午後3時30分

問い合わせ先

企画部 企画政策課

052-400-2911 内線4016

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前 田 繁 一

署名委員 小 澤 顕 彦

署名委員 山 田 政 勝